7/20 朝日

健康なら保険料安く

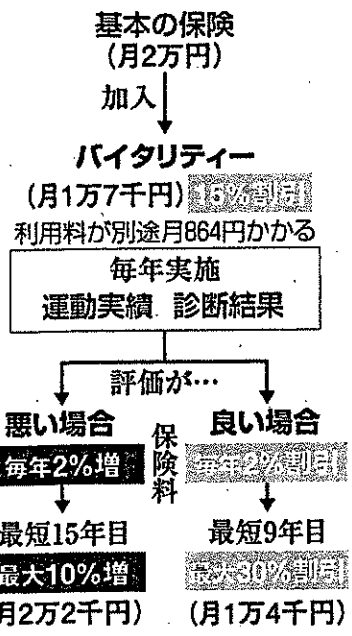
住生、保険の新商品

住友生命保険は17日、新たな保険商品「バイタリティー」を発表した。死亡保険や医療保険に「特約」の形で適用し、健康診断の結果や日々の運動習慣に応じて保険料の割引が受けられる。高齢化で主力の死亡保険のニーズが先細る中、健康に着目した商品で加入者拡大を目指す。

住友生命は新商品の開発に5年をかけたといい、商品発表会には、元プロ野球選手の松井秀喜さんや俳優の瑛太さんらが顔をそろえた。橋本雅博社長は「加入時の健康状態ではなく健康増進への取り組みで評価する新しい保険だ」と語り、10年で500万件の契約を目指すという。

24日から、同社の主な保険に加入する顧客はバイタリティーを適用するかを選ぶ。適用すると月864円の利用料がかかるが毎月の保険料は15%割引になる。

加入者は、体に身につける専用のウェアラブル端末やスマートフォンで、1日の歩数などの運動データを測るほか、血圧やコレステロールなどの検診データも定期的に住友生命に送る。

その結果に応じて「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」「ブルー」の四つのランクに分けられ、毎年の保険料が見直される。最も高いランクでは年2%が割り引かれ、バイタリティーに未加入の場合と比べて最大で30%割引になる。ただ最も低いランクでは年2%割り増しとなり、最大で10%割り増しになる。（柴田秀並）

住友生命の新保険のイメージ